

科目名	産業創造セミナー		英文表記	Creative Business Seminar		2017/3/10		
科目コード	3201						作成	
教員名: 兼城千波、神里志穂子								
技術職員名:								
対象学科/専攻コース			学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間
情報通信システム工学科			3年	選	履修	2単位	講義	通年
科目目標 【MCC目標】	<p>産業や仕事に関心を持ち、自分の進路に関して考えるきっかけをつかみ、基礎的なビジネス関連用語を理解するとともに簡単な事業計画書を作成し、社会の仕組みを考えることができることを目標とする。</p> <p>【VII-B】集められた情報をもとに、状況を適確に分析することができる。</p> <p>【VII-B】与えられた目標を達成するための解決方法を考えることができる。</p> <p>【VII-C】企画立案から実行するまでのプロセスを持続可能性の実現性を配慮して実行することができる。</p> <p>【VII-C】高専で学んだ専門分野・一般科目の知識・教養が、企業及び社会でどのように活用されているかを理解し、技術・応用サービスの実施ができる。</p> <p>【VII-C】地域や企業の現実の問題を踏まえ、その課題を明確化し、解決することができる。</p> <p>【VII-C】問題解決のために、最適なチームワーク力、リーダーシップ力、マネジメント力などを身に付けることができる。</p> <p>【VII-C】技術者として、幅広い人間性と問題解決力、社会貢献などの必要性を理解できる。</p> <p>【VIII】集団において、合意形成のための基礎的技術を理解し、問題解決、アイデア創造等の活動ができる。</p> <p>目標・成果に関して、現状と目標との乖離から解決すべき課題を見つけ、必要な情報を収集・分析・整理し、課題を発見することができる。</p> <p>【VIII】目標・成果に関して、現状と目標との乖離から解決すべき課題を見つけ、必要な情報を収集・分析・整理し、課題を発見することができる。</p> <p>【IX】目標達成のために他者と協調・協働して行動できる。組織やチームの目標と自身の役割分担を理解し、目標達成のために多面的な観点から行動を考えることができる。他者の意見を尊重しながら、当事者意識を持って成果をあげることができる。</p> <p>【IX】課題解決や目標達成に向けて、事実を冷静に受け止め、複数の観点から検証を加え、目的達成のための判断を下し、他者に方向性を示し、動機付けができる。目標達成のためのチームの構築ができ、自らやり甲斐を感じて責任を持って行動することができる。</p>							
総合評価	<p>前期評価: 定期試験(ビジネス関連試験)(50%)とレポート(50%)で評価する。</p> <p>後期評価: 起業企画書と発表(100%)で評価する。</p> <p>学年末評価は前期評価と後期評価の平均で行い、60%以上を合格とする。</p>							
科目達成度目標	目標割合	科目達成度目標	達成度目標の評価方法	ルーブリック				セルフチェック
	80%	① 産業や仕事に関心を持ち、自分の進路に関して考えるきっかけをつかむ。	正しく説明できるかレポートで評価する	理想的な到達レベル(優)	標準的な到達レベル(良)	最低限必要な到達レベル(可)		
	20%	② 基礎的なビジネス関連用語を理解し、社会の仕組みを考えることができる。	正しく説明できるかを関連試験とレポートで評価する。	基礎的なビジネス関連用語を確認し、実際の社会の仕組みの概念を具体的に考えることができる。	基礎的なビジネス関連用語を確認し、実際の社会の仕組みの概念を考えることができる。	基礎的なビジネス関連用語を確認できる。		
		③ 簡単な事業計画書を作成できる。	起業企画書を作成し正しく発表できるかプレゼンテーションと資料で評価する。	簡単な起業計画書の作成において、自分の意見を積極的に言うことができ、他人の異なる意見をまとめながら、グループの計画としてまとめ、発表することができる。	簡単な起業計画書の作成において、自分の意見を積極的に言うことができ、他人の異なる意見を聞くことができる。	簡単な起業計画書の作成において、自分の意見を言える。		
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4	◎(3) 専門的基礎知識を理解し、自ら学ぶことのできる人材を育成する			
	○		◎		○(1) 技術者に必要な基礎知識を備え、実践力のある人材を育成する			
評価方法と評価項目および関連目標に対する評価割合								
	目標との関連	定期試験	小テスト	レポート	その他(演習課題・発表・実技・成果物等)	総合評価	セルフチェック	
評価項目		40	0	30	30	100		
基礎的理解	①②③	20		10	10	40		
応用力(実践・専門・融合)	②③	5		5	5	15		
社会性(プレゼン・コミュニケーション・PBL)	③	10		10	10	30		
主体的・継続的学修意欲	①②③	5		5	5	15		
授業概要、方針、履修上の注意	<p>起業家による講演で創業の経緯と経営課題、経営学分野の講義を通じてビジネス関連基礎知識を学び、参考資料とサンプルに基づいてグループ単位で事業計画書を作成する。</p>							
教科書・教材	配布資料、ビデオ教材など							

授 業 計 画					
週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容	自学自習 (予習・復習)内容	セルフ チェック
1	ガイダンス	2	目標・授業概要および進め方を説明する 【VII-B】、【VII-C】、【VIII】、【IX】	教科書を読む	
2	ビジネスの基礎(1)	2	起業とは何か？ビジネスとは？ 【VII-B】、【VII-C】、【VIII】、【IX】	先週の講義内容・問題復習	
3	ビジネスの基礎(2)	2	ビジネスを起こすとは？(1)DVD鑑賞含む 【VII-B】、【VII-C】、【VIII】、【IX】	先週の講義内容・問題復習	
4	ビジネスの基礎(3)	2	ビジネスを起こすとは？(2)目標・目的、何がしたいのか 【VII-B】、【VII-C】、【VIII】、【IX】	先週の講義内容・問題復習	
5	ビジネスの基礎(4)	2	ビジネスを起こすとは？(3)誰をターゲットにするのか 【VII-B】、【VII-C】、【VIII】、【IX】	先週の講義内容・問題復習	
6	ビジネスの基礎(5)	2	ビジネスを起こすとは？(4)何をどんなふうに行っていくか 【VII-B】、【VII-C】、【VIII】、【IX】	先週の講義内容・問題復習	
7	ビジネスの基礎(6)	2	ビジネスを起こすとは？(5)何をどんなふうに行っていくか 【VII-B】、【VII-C】、【VIII】、【IX】	先週の講義内容・問題復習	
8	ビジネスの基礎(7)	2	ビジネスを起こすとは？(6)何をどんなふうに行っていくか 【VII-B】、【VII-C】、【VIII】、【IX】	先週の講義内容・問題復習	
9	ビジネスの基礎中間試験	2	ビジネスの基礎の中間試験 【VII-B】、【VII-C】、【VIII】、【IX】	先週の講義内容・問題復習	
10	ビジネスの基礎(8)	2	起業に必要なもの(1)DVD鑑賞含む 【VII-B】、【VII-C】、【VIII】、【IX】	先週の講義内容・問題復習	
11	ビジネスの基礎(9)	2	起業に必要なもの(2)思い立った時にすること 【VII-B】、【VII-C】、【VIII】、【IX】	先週の講義内容・問題復習	
12	ビジネスの基礎(10)	2	起業に必要なもの(3)会社設立前にすること 【VII-B】、【VII-C】、【VIII】、【IX】	先週の講義内容・問題復習	
13	ビジネスの基礎(11)	2	起業に必要なもの(4)会社設立前にすること 【VII-B】、【VII-C】、【VIII】、【IX】	先週の講義内容・問題復習	
14	ビジネスの基礎(12)	2	起業に必要なもの(5)会社設立後にすること 【VII-B】、【VII-C】、【VIII】、【IX】	先週の講義内容・問題復習	
15	ビジネスの基礎(13)	2	起業に必要なもの(6)会社設立後にすること 【VII-B】、【VII-C】、【VIII】、【IX】	先週の講義内容・問題復習	
期末	期末試験	[2]			
16	事業計画(1)	2	起業企画書の作り方(グループ編成) 【VII-B】、【VII-C】、【VIII】、【IX】	先週の講義内容・問題復習	
17	事業計画(2)	2	起業企画書作成(チーム) 【VII-B】、【VII-C】、【VIII】、【IX】	先週の講義内容・問題復習	
18	事業計画(3)	2	ビジネスプランコンテスト説明会 【VII-B】、【VII-C】、【VIII】、【IX】	先週の講義内容・問題復習	
19	事業計画(4)	2	起業企画書作成(チーム) 【VII-B】、【VII-C】、【VIII】、【IX】	先週の講義内容・問題復習	
20	事業計画(5)	2	起業企画書作成(チーム) 【VII-B】、【VII-C】、【VIII】、【IX】	先週の講義内容・問題復習	
21	事業計画(6)	2	起業企画書作成(チーム) 【VII-B】、【VII-C】、【VIII】、【IX】	先週の講義内容・問題復習	
22	事業計画(7)	2	起業企画書作成(チーム) 【VII-B】、【VII-C】、【VIII】、【IX】	先週の講義内容・問題復習	
23	事業計画(8)	2	起業企画書作成(チーム) 【VII-B】、【VII-C】、【VIII】、【IX】	先週の講義内容・問題復習	
24	事業計画(9)	2	起業企画書作成(チーム) 【VII-B】、【VII-C】、【VIII】、【IX】	先週の講義内容・問題復習	
25	起業企画書成果発表会	2	進捗共有会(2チーム/学科) 【VII-B】、【VII-C】、【VIII】、【IX】	先週の講義内容・問題復習	
26	事業計画(10)	2	起業企画書作成(チーム) 【VII-B】、【VII-C】、【VIII】、【IX】	先週の講義内容・問題復習	
27	事業計画(11)	2	起業企画書作成(チーム) 【VII-B】、【VII-C】、【VIII】、【IX】	先週の講義内容・問題復習	
28	起業企画書成果発表会(1)	2	学科別発表会 【VII-B】、【VII-C】、【VIII】、【IX】	先週の講義内容・問題復習	
29	起業企画書成果発表会(2)	2	学科別発表会 【VII-B】、【VII-C】、【VIII】、【IX】	先週の講義内容・問題復習	
30	まとめ	2	教員による総合評価と科目目標達成度の確認	先週の講義内容・問題復習	
期末	期末試験	[2]			
学習時間合計		60	実時間	45	

自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)	標準的所用時間
① レポートや調査	30時間
②	
③	
<p>(各科目個別記述)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ この科目の主たる関連科目は情報通信システム工学科科目関連図一覧表を参照のこと。 <p>(モデルコアカリキュラム)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 対応するモデルコアカリキュラム(MCC)の学習到達目標、学習内容およびその到達目標を【】内の記号・番号で示す。 <p>(航空技術者プログラム)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 【航】は航空技術者プログラムの対応項目であることを意味する。 <p>(学位審査基準の要件による分類・適用)なし</p>	

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(45分=1、90分=2)